

# Aprirre

No.  
**81**  
WINTER  
2023.12



## 学生特集



## 今号の表紙

今号の表紙は、学生特集ということで秋田大学吹奏楽団の皆さんに撮影協力していただきました。吹奏楽団は現在68名の団員がおり、仲間同士で切磋琢磨しながら日々練習に励んでいるそうです。3月に行われた卒業式でも演奏を披露していただきました。写真のシンバル、シロフォン、チューバ、ホルン、フルートは大学の予算で今年度新たに購入されました。(広報課)

## 03 学長からのメッセージ

### “人間力”の形成に係る 特徴的な教育

## 04 国際資源学部

○藤井 光 国際資源学部長

## 教育文化学部

○上田 晴彦 教育文化学部長

## 05 医学部 医学科・保健学科

○羽瀨 友則 医学部長

○安藤 秀明 保健学科長

## 06 理工学部

○寺境 光俊 理工学部長

### 新学部設置構想の 教育・研究について

○長縄 明大 副学長

## 07 それぞれの学生生活

## 09 夢をかなえた 卒業生に聞きました

## 11 課外活動の紹介

## 13 第56回 秋田大学祭

## 14 ウクライナ学生インタビュー

## 16 秋田大学みらい創造基金

# 学長からのメッセージ

秋田大学長 山本 文雄



先の未来の創造に積極的に取り組んでいける人材の育成が重要と考え、AI・データサイエンス教育の充実に注力するとともに、対面授業とオンライン授業の利点を考慮したハイブリッド型授業の提供等、様々な学修環境の整備を進めているところであります。また、慣れない環境で不安を覚えている学生さんに向けた相談窓口の充実のほか、学資や生活費に困窮している学生さん向けの経済支援の充実など、きめ細やかな学修環境や支援を提供しているところであります。

今回のアプリールでは、「学生特集」というテーマで、学生さんの大学生活や就職活動の支援等について紹介させていただきます。

私は、学長就任以来、「学生第二」をスローガンに掲げ、大学経営に当たってまいりま

また、私が大学生活の中で最も重要であると認識しておりますのは、学生は各分野の専門家である前に、豊かな人間力を身につけなければならぬということであります。そこで、2021年度から教養基礎科目に道徳教育を開講しました。社会で起きている様々な悲しい事件を見ておりますと、人間力の大切さを痛感いたします。特にコロナ禍で、その必要性を強く感じました。秋田大学は附属病院を抱えており、県内各所の病院で診療援助をしているため、医学部でクラ

スターが発生すれば、県全域の医療に影響が及びます。学生は医学の知識を修得するだけでなく、医者としての人間性が問われます。それは他の学部も同様であり、道徳教育は前近代的と思われるかもしれませんが、それが教育の原点であると考えております。もちろん専門分野における優秀さも大切ですが、人間の評価はそれだけではありません。秋田大学は、これからも豊かな人間力を備えた人材を輩出してまいります。

秋田大学は、これまで「優秀な卒業生を社会へ、そして優れた研究を社会に還元する」を使命として教育研究活動を実践してまいりました。Rが実施した「企業の人事担当者から見た採用を増やしたい大学ランキング」2018年版におきましては、全国約800の国公私立大学中、第1位に選ばれており、「行動力」と「対人力」、「知力・学力」、「独創性」のうち「行動力」と「対人力」で非常に高い評価を得ることができた。これらは、卒業生自身の努力の賜であることは言う

までもありませんが、それをバックアップする土壌が秋田大学にあることの証明であり、秋田大学の教育方針が間違っていないことを証明しているように思います。

また、昨年2月のロシアによるウクライナに対する軍事侵攻に心を痛めながら注視している状況で、秋田大学でも何か貢献ができないかとの思いから、ウクライナの学生さんに修学の間を提供する。そのため、海外の学生さんたちにも「学生第二」のスローガンを適用のうえ人材育成を行っていくことを決定し、これまで10名のウクライナからの学生さんを受け入れたところであります。ウクライナから受け入れた学生さんの秋田大学での様子につきましては、このアプリール誌上で紹介しておりますので、ご覧いただければ幸甚に存じます。

これからも、「学生第二」というスローガンのもと、すべての教職員が、学生さんにきめ細やかな教育環境を提供し、知的好奇心を育んでいけるよう努力してまいりまいる所存です。皆様からの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

# “人間力”の形成に係る特徴的な教育

## 国際的な資源学実習

「学生全員が海外に飛び立つ『海外資源フィールドワーク』」

国際資源学部



国際資源学部長  
藤井 光  
FUJII HIKARI

国際資源学部は、資源国の政策・文化や資源経済などを対象とした人文社会学系と地球科学から資源探査、開発・生産を対象とした理工系分野からなり、資源を網羅的に学ぶ我が国唯一の「資源学」を対象とした学部です。本学部の特徴的なカリキュラムとして3年次必修科目「海外資源フィールドワーク」(以下「FW」)があります。この科目は資源に関連する最新の事情について、海外の資源国に約4週間程度滞在し、現地の企業・大学・研究所等で実際の資源に関わる実



アメリカ モンタナテック鉱山博物館旧坑道での実習の様子

習を受けるものです。令和5年度には20カ国で実施した計26プログラムを109名の学生が受講しました。FWにおいて充実した実習を実現するためには事前に十分な語学力を身に付けておくことは非常に重要です。これに加えて、本FWは複数人で構成する学生グループで現地実習を行うことから、皆で連帯・協力するコミュニケーション力も不可欠です。また、日本とは異

なる文化のもと、計画どおり進まないことの多い実習現場では、交渉力、行動力、忍耐力も必要です。さらに資源の現場でより多くのことを学ぶことを経験して、探求力も生み出されます。

国際的に活躍できる資源人材育成を掲げている国際資源学部ではFWを経験することによって前出のように様々な能力が醸成され、自身の「人間力」の向上へと繋がります。FWを経験した学生の社会での評価は高く、これまでに多くの学生が国内外で資源を開発・生産する有力企業等(政府系機関、商社、エネルギー関連企業、鉱物資源関連企業等)に就職しており、就職率はほぼ100%を維持しています。

海外資源フィールドワークの様子について、詳しくはこちらからどうぞ

## 子どもたちへのサポートを通して人間力を磨く「教育実地研究」

教育文化学部



教育文化学部長  
上田 晴彦  
UEDA HARUHIKO

子どもたちの人格形成に関わる者として、教師には豊かな人間力を備えていることが求められます。教育文化学部では教員免許の取得を目指す学生に対して、平成24年度から「教育実地研究」という実践的科目を置き、教育をおこなっています。この授業は1年次から4年次までにわたって、I、II、III、IVと学年進行にあわせて実施されています。それぞれの授業内容について、簡単に説明します。1年次対象の「教育実地研究Ⅰ」では児童館、放課後児童クラブ等で子ども

たちの遊びや学びをサポートすることを通して、教育や子どもに対する関心を深め、教員として働くための基本的な態度を身につけます。2年次対象の「教育実地研究Ⅱ」では保呂羽山少年自然の家や太平洋山自然学習センター等で補助スタッフとして活動することを通して、子どもたちの活動への興味・理解を高めることを目指しています。3年次対象の「教育実地研究Ⅲ」では市内の学校の各種の行事のサポートを行い、4年次対象の「教育実地研究Ⅳ」では放課後の学習指導、部活動など教員の補助的な体験活動をおこないます。教育文化学部ではこのような実践的教育を通して、学生たちの人間力を磨く教育を推進しています。

## 人間力を備えた 医師の育成

医学部医学科



【共同寄稿】  
大学院医学系研究科  
医学教育学講座 教授  
**長谷川 仁志**  
HASEGAWA HITOSHI  
大学院医学系研究科  
先進デジタル医学・  
医療教育学講座 特任教授  
**及川 沙耶佳**  
OIKAWA SAYAKA

医学部長  
**羽渕 友則**  
HABUCHI TOMONORI

医学部医学科では、ほぼ学生全員が将来、医師国家試験を受験、医師免許を取得し、医師となります。多様な背景を持ち様々な身体的・精神的な悩みや訴えを持つ患者さんを全人的に診る「人間力」が必要となります。また医療人として、社会的にも皆から認められる人間性も求められます。

これらを念頭に、「人間力（「プロフェッショナルリズム信頼、思いやり、倫理）、コミュニケーション力、多職種連携・チームビルディング力、問題解決実践力等を包括」を卒業時に学生全員が修得するためのアクティブラーニング（以下「A」と

そのパフォーマンス（実践力）評価（以下「P」）を1年生から6年間にわたり各専門分野が貫いて強化しています。入学直後からAとして症例・事例ベースに医療面接・臨床推論ロールプレイを、Pとしての客観的臨床能力試験（以下「OSCE」）を行い、後期には、学内・県内医療機関での早期臨床実習で、医師の人間力の重要性を学びます。4年次には公的試験のOSCEおよびコンピュータ試験（CBT）が合格基準に達した学生に対し、臨床実習生としての認定書授与式を厳格な雰囲気で行い、責任感と人間力向上の重要

性を意識づけています。その後、究極のAとして、4年次後期から卒業まで、主治医チームの員として大学病院と関連医療機関において実際に患者さんを受け持つ診療参加型臨床実習を行い、集大成のPとして16課題からなる国内最大規模のOSCEを卒業判定として実施しております。

2023年からは、学内外のすべての指導者が、講義・演習動画等の教育教材を効果的に共有できるよう、デジタル教育の県内ネットワークを構築して、これらの取り組みを継続的に向上させるよう尽力しております。

1年次から模擬患者さんを対象に医療面接のトレーニング、客観的臨床能力試験（OSCE）を体験

2年次解剖実習前に臨床ポイントを実践的に理解

ネーティブ英語模擬患者さんを対象に英語での医療面接トレーニング

デジタル教材も活用して、臨床実習や卒業研修で重要な心エコー、腹部エコー、肺の聴診演習

デジタル活用で自己演習 | 心エコー・腹部エコー OSCE | 肺聴診OSCE

1年次から秋田県内の医療機関で早期臨床実習・学習

【目標】

- ① 医療現場で望まれる医師像について理解できる。
- ② コミュニケーション力は医師の中心的臨床能力の一つであることを理解できる。
- ③ 医療従事者の任務とチーム医療の重要性を理解できる。多職種連携・教育の重要性を理解できる。
- ④ 何科にすんでも大切な各科の基本診療・プライマリケアの重要性を理解できる。
- ⑤ 基礎医学・臨床医学知識の必要性とその応用性の重要性を理解できる。
- ⑥ これからの医療連携・地域医療の重要性を理解できる。
- ⑦ 患者中心の医療のリーダーとしての、医師の役割・使命・人間力・プロフェッショナリズムの重要性を理解できる。すべての学びは、医療安全につながる。

## 地域課題を学び国際的 多様性を学ぶ 人間力を育成する

医学部保健学科



保健学科長  
**安藤 秀明**  
ANDOH HIDEAKI

保健学科は、健康や障害を有するヒトに関わり、幸福に暮らすためと言う課題をテーマに研究し、地域で実践していくことが求められています。近年、感染症・地球温暖化による天災・戦禍など想定していなかったことが多発し、これまで経験したことのない、変化に富む社会情勢に対応するためには自ら課題探求し、自ら課題解決する能力が必要です。すなわち、「人間力」が最も求められます。



人間力を養う方略として、一般市民と地域の課題を探索・解決するため、保健学科内に「ひと街づくり研究所」を開設しました。ここでは、専門職としての能力を習得した学生が、一般市民を対象として、健康に関する講話を行ったり運動指導などを実践します。実践後は効果をデータ収集し、市民と共に課題を話し合っています。今後は、活動で得られたデータを研究として発信予定です。

一方、人間力を培うために、国際交流を推進し多様な文化・価値観を体験しています。交換留学はタイ王国、シンガポール、オーストラリア、ベルギーとで年間10名参加しています。さらに多くの交流を行うため、ICTを用いた国際交流を4カ国間でのVirtual Exchange Programとして3年前から実施しています。こちらも年間10名以上の参加で、4カ国で教員も含めて80名以上の国際交流を実施しています。

保健学科では、地域とともに学び、世界的な多様な価値観を学ぶ人間力を養っています。

海外留学の勧め

理工学部



理工学部長  
寺境 光俊  
JIKEI MITSUTOSHI

理工学部では国際舞台で活躍する人材の育成に向けて、豊富な留学プログラムを提供し、留学しやすい環境を整えて、学生たちに世界への扉を用意しています。今回は、本年9月に行ったマレーシアへの留学プログラムについて紹介します。

ムは日本学生支援機構の海外留学支援制度に採択されており、必要な費用は奨学金として受け取ることができ、このプログラムは1、2年生を対象とした海外派遣プログラムで、マレーシア日本国際工科院のスタッフによる語学研修の後、現地学生とのPBL(Project Based Learning、課題解決型教育)を実施し、グループワークを通して国際交流を図ります。学生の自由な発想をもとに新しいアイデアを創出し、それを企業に売り込むことは、学生の自主性を発揮できるアクティブラーニ

ングであり、同時に将来のキャリアパスを先取りする内容です。学生同士の交流も非常に活発で、始めは英語で会話することに羞じらいや抵抗のあった学生も、滞在数日ですっかり打ち解けて、成長していきます。

この留学プログラムは短期間(2ヶ月)ですが、大学低学年で短期留学を経験し、海外に飛び出すことの不安を払拭することも大きな目的の一つです。そしてその後、高学年あるいは大学院において、さらに長期間で自身の専門的な研究活動を含む留学に挑戦する学生が出てくることを期待しています。



ランゲージアカデミーによる英語レッスンの様子



お世話になった現地の方々と記念撮影

New Faculty  
新学部設置構想の教育・研究について



副学長  
(評価・IR・新学部設置担当)  
長縄 明大  
NAGANAWA AKIHIRO

令和7年度に開設を予定している情報データ科学部(仮称)では、ITエンジニアや様々な分野で活躍できるデータサイエンティストを育成するため、情報学とデータサイエンスを体系的に学ぶことができる教育課程を編成します。学生は、入学時から教養、数学、英語等と合わせて、基礎AI学や基礎データサイエンス学等のデータサイエンス系科目に加え、基礎情報学やプログラミング等のコンピュータサイエンス、IoTとネットワーク、情報セキュリティ等について学びます。

また、人口減少地域における社会課題を解決するため、情報技術やデータサイエンスを応用し研究する分野として、人と人のつながりの質を高めるヒューマン・コンピュー

タ・インタラクションや画像処理・機械学習等を扱う“人間情報学”、日常生活においてAIを活用して適切に人間を支援できるロボットを扱う“知能ロボティクス”、安全安心な社会システムの構築に必要な新たな防災対策やエネルギー等の情報を扱う“防災・エネルギー情報学”等の専門を学びます。なお、これらの応用分野は、他大学に設置されている情報系学部にはない特色となっています。

さらに、官公庁や産業界等と連携し、実社会の課題解決に取り組むPBL(Project Based Learning)実習や上記応用分野に関する卒業研究に、身に付けた情報技術やデータ解析スキルを活用して取り組むことにより、論理的思考力や問題解決力、コミュニケーション力や協調性等の実践力を身につけることができ、「人間力」を向上させることができます。

## 現役在学生たちのリアルな学生生活の様子をご紹介します

対面授業は、二年生になってからほとんどが英語によって行われるため、集中して講義を受けています。初めて聞く単語は、辞書を引きノートにまとめようとしています。一年生のときに受けた資源学実習では、実際に烏海山で地層を観察し、また荒川鉦山史跡で昔の資源

面授業の両方の形態の講義を受けています。オンデマンド授業の場合は空き時間にどこでも授業を受けられるためとても便利です。私は、より集中できる環境が整っている図書館で授業を受けることが特に好きです。

### 授業やゼミでの活動



について学びました。とても楽しく学びがいのあるものでした。

### アルバイトや課外活動

結婚式場で週二回のペースでアルバイトをしています。サービス業であるため、社会人になる前のいい勉強になっています。アルバイトの仲間もサークルのような雰囲気でもとても楽しいです。

### 学生寮での生活

私は学生寮に住んでいます。親元を離れ、家事をすることの大変さと大切さを学びました。また、帰宅後も他の寮生とのかかわりが大切になってくるため大変なこともあります。ですが友達ができることも充実して楽しいです。

### 100円定食

100円定食はとても便利でよく利用します。たったの100円で栄養バランスのいい一食分の食事ができるのでとても良いです。日替わりでメニューも変わるので、それも楽しみの一つです。

みなさん、こんにちは。教育文化学部3年次の相馬慈と申します。今回は、大学の一日とということで、生活について紹介させていただきます。

最初に授業について紹介します。朝から夕方までは講義などがあるので、大学で過ごします。授業には、講義、演習、実習、実技など様々な形態があります。この日はピアノの実技の授業（小学校教員免許取得のために必須）や教育研究に関する本を講読し、気になったトピックについて少数で議論する授業がありました。また、私は社会科教育研



研究室に所属しており、毎週行われるゼミでは卒論構想を発表して学生同士で議論したり、先生方から指導していただいたりしています。

昼食は、大学の学生食堂で食べます。昨年から、学生支援の一環として「100円定食」がメニューに加わったので、ときどき食べています。とてもおいしいですよ。

そして私は、本学の学生寮である西谷地寮で生活しています。秋田駅と大学の中間くらいに位置しており、どちらへ行くにも徒歩10分程度で着くのでとても助かっています。キッチンやトイレ、ユニットバス、冷蔵庫などは各部屋に設置されているので、「寮」とは言っても共有設備は洗濯機と乾燥機くらいです。好立地で家賃も安いので、おすすめです。

今回は、私の大学生活について紹介しました。秋田大学の学生生活の様子が少しでも伝われば嬉しいです。

## 現役在学生たちのリアルな学生生活の様子をご紹介します

### 授業の様子

1年生前期の一般教養科目が終わると、医学科専門科目の授業が始まります。専門科目の授業はすべてが必修であるため、同学科の学年全員で同じ授業を受けることになります。

私たち2年生は現在、毎日1限から5限まで、専門科目の授業（免疫や微生物、病理学など）に臨んでいます。朝早くから夕方まで授業を受けるのは大変ですが、どの授業も非常に興味深く、とても楽しいです。

### 課外活動について

医学部陸上競技部に所属し、活動しています。部員のみならず一緒に体を動かした後は、と



ても清々しい気分になります。また、部活動を通して、同級生との横のつながりはもちろん、先輩や後輩との縦のつながりも多くでき、普段の授業では得ることのできない楽しさをたくさん得ることができます。

### 実習について

私は今年度の前期、約2カ月にわたる解剖実習を経験しました。解剖実習は私たち医学科の学生が入学して初めてメスを握る場であり、高い緊張感をもつて臨みました。また、御献体としてお体を貸してくださった方や、そのご遺族の方の気持ちにこたえられるよう、班員と協力し、精一杯頑張りました。解剖実習は、私の今後の人生において、生涯忘れられない大切な経験になりました。



理工学部4年次・電気電子工学コースのとある日の生活を紹介します。

まず午前9時30分に研究室にてゼミがあります。ゼミでは、研究の進捗などを報告します。ここでは先生から意見や助言をもらうことができます。自分の研究の重要な指針になるとともに、研究分野についてより理解を深めることができます。ゼミが終わったら、学食へ向かいます。学食は基本的に混雑する時間帯を避けるようにして利用しています。

午後は研究活動を進めます。私は「270.TN配向リバースモード高分子分散型液晶の散乱パターンの解析」というテーマを研究しています。研究活動の



内容は、液晶セルの作成とその特性測定、測定結果の考察、論文の検索と購読などです。私の研究テーマでは、液晶セルの特性や散乱光の拡散の様子から、液晶セル内部での入射光の散乱メカニズムを考察するのですが、この考察の過程が楽しいところだと感じています。一方で、こういった考察をするためには液晶について理論的なところを学ぶ必要があるため、楽しいと同時に大変なところでもあると感じています。また、私の研究に限らず、文献は基本的に英語で書かれているため、英文法の知識に加えて、専門的な英単語も調べる必要があります。これも大変なところであると感じています。

午後の研究活動を終えたら、帰宅してアルバイトか、自分の趣味に時間を費やしています。飲食店でバイトをしています。社会的な能力を身に付ける良い経験になっていると考えています。以上、液晶を研究する4年次の一日でした。

## 夢をかなえた卒業生に聞きました

社会人の先輩に聞いた、就職活動の流れやポイント

## 教員になるために

教育文化学部  
学校教育課程 教育実践コース 卒業細井 駿吾  
HOSOI SHUNGO現在の  
職業・職種

小学校教員

私は今年の3月に秋田大学を卒業し、4月から教員として秋田市内の小学校で勤務しています。教員採用試験を受けるにあたって、在学中はたくさんの方や職員の皆様にご指導ご支援をいただきました。

本格的に教員採用試験に向けて準備を始めたのは3年次の9月頃です。周りは11〜12月頃から始めていた人が多かったのですが、少し早めに取りかかっていたほうです。はじめは何から始めたらよいのか分からなかったため、ゼミの先輩に聞いたり自分で調べたりして情報収集を行いました。とにかく一次試験を突破できる

ければ意味がないと思ったので、一次試験で行われる筆記の勉強を中心に取り組みました。教職と小学校教育課程の問題集と秋田県の過去問を何度も解いたり、模試を受けたりしました。また、同期の仲間たちと切磋琢磨し、励まし合いながら受験に對するモチベーションを高めました。仲間の存在はとても大きかったです。教員採用試験を無事に突破できたのは、大学のサポート体制がとても充実していることが大きかったと思います。特に、就職情報室の職員の方々、大学の先生方のサポートはとても力

になりました。過去問は就職情報室でコピーをもらい、それを解いていました。就職情報室の職員の方々はいつも温かく接してくださり、教員採用試験の情報をたくさん教えてもらいました。これまでの各自治体の試験情報など有益な情報がたくさん手に入るので、教員採用試験で聞きたいことがあったらぜひ就職情報室を活用してください。大学の先生方からは、一次試験の集団面接や二次試験の個人面接の練習のほかに小論文指導もしていただきました。休日にもかかわらず指導をしてくださり大変ありがたかったです。親身になってサポートをしてくださったことが自分にとって大きな力になりました。私は面接がとても苦手です。周囲の人と比べても明らかに受け答えが下手だったので、毎日悔しい思いをしながら面接練習をしたのを覚えています。し

かし、今となつては苦手な面接練習を乗り越えたからこそ教員になれたと確信しています。教職を目指している人だけでなく、就職活動をしているすべての人には、諦めず将来の自分の姿を思い浮かべながら頑張ってもらいたいと思います。

社会人になると忙しい毎日やつてきます。大学生のうちにとにかく自分の好きなことをしましょう。みなさんの今後のご活躍を期待しています。



大切なことは  
“軸”と“ワクワク”

大学院理工学研究科  
博士前期課程 物質科学専攻 材料理工学コース 卒業

中 村 靖 子  
NAKAMURA YASUKO

現在の  
職業・職種

(株)日立製作所  
社員

“皆さんは5年後、10年後、どのような自分になっていたいですか？”

就職活動を進める中で、誰しも一度は質問されたことのある問いだと思えます。この質問は、社会人となった今でもよく遭遇する問いかけです。就職活動を終えて社会人になってから早5年が経ちますが、就職活動期間での答えの“軸”は、今でも変わっていません。

私の就職活動は、修士1年の夏季インターンシップから始まりました。中期、短期を合わせて計5社の企画に参加しました。参加目的は企業の情報収集で

したが、直接関わらない社員の方々を見て実際の雰囲気を感じることができると、積極的に参加していました。これは、入社しからのギャップを無くす意味で非常に重要な機会だったと思います。

その後は4月の就職活動解禁に向け、エントリーシート(E S)作成や面接練習を重ね、4月以降は説明会、面接を経て内定となりますが、ここで一番大切な期間は解禁前の1〜3月です。なぜなら、ES作成や面接練習を重ねる中で、先述した自身の“軸”を必ず固めていくことになるからです。私はこの期間、大

学の学生支援・就職課が提供する制度を活用させていただきましたが、添削や練習に留まらず、この“軸”固めを手厚くサポートいただきました。

なぜこれほど“軸”を強調するのか。それは、私の就職活動における苦労点にも繋がります。私は専攻である材料工学を直接活かすのではなく、研究を通して得た課題発見力、未踏の領域へのチャレンジ精神、また学生自主プロジェクトのハイブリッドプロジェクト開発を通して得たプロジェクトマネジメント力を活かすことのできる就職先を探していました。そのため、面接では必ずなぜ材料系の会社ではないのか“なぜ宇宙系に進まないのか”を問われます。その問いに答えられるかどうかは“軸”にブレがないことが求められますが、「やりたいこと」に注目してしまおうと、この“軸”にブレが出てきます。悩む中、学生支援・就職課の方との面談を経て、「どんな時にワクワクするか」に焦点を当てる重要性を知り、自身のブレない“軸”(＝世界中の「誰か」の役に立っていると目に見えて実感

できること)を確立することができました。

冒頭に戻りますが、就職活動をする上でも、社会人として仕事を進める上でも、「ワクワクすること」に焦点を当てて構築した“軸”は、何か判断に迷ったときの助けとなります。せっかくの機会なので、今一度自分の“軸”をよく考えながら、多くの企業の方々に会い、体感し、楽しみながら、自分の「ワクワク」にヒットする企業を見つけていたのだと思います。皆さんにも、企業との良い出会いがありますように！



# 秋田大学 課外活動の紹介

## CULUB ACTIVITIES

団体名

### ハンドボール部

私たちハンドボール部は男女16名で活動しております。東北一部リーグ優勝、そして全日本インカレ出場を目標とし、練習に取り組んでいます。

前回の東北秋季リーグでは男子一部3位、女子4位と悔しい結果となりました。この悔しさを糧にして、監督の佐藤靖先生とともに目標に向け頑張りたいと思います。また、地域貢献として「ボール遊びの集い」という活動も行っています。様々な魅力あるボール遊びを研究・工夫し、発育・発達が著しい時期の子どもたちに体験してもらいたいと思い、定期的に集いの場を設けてきました。様々な体験を通してボール遊びとしてのハンドボールの良さを伝えたいという思いを胸に、様々な活動に取り組んでいきますので応援よろしく願いいたします。

〈ハンドボール部部長：神林 怜〉

団体  
ホーム  
ページ



団体名

### 柔道部

私たち柔道部は、自身の柔道の技術の向上を図るとともに、生涯を通して柔道と関わり、将来、指導者などとして活躍できるように、基礎基本の徹底を大切にし、日々、稽古に励んでいます。1回1回の練習時間は長くはありませんが、それぞれが目標を持って日々の稽古に取り組んでいます。今年度は、個人、団体ともに東北大会で上位入賞を果たし、インターカレッジに出場することができました。

柔道は怖い、大変そうというイメージを持っている方も多いと思いますが、秋田大学柔道部では、基礎から丁寧に指導していただけるので初心者の方でも安心して柔道に取り組むことができます。

ぜひ私たちと柔道を一緒にやってみませんか。

〈柔道部主将：高橋 瑠生〉

柔道部  
Instagram



団体名

### 秋田大学学生宇宙プロジェクト ASSP

秋田大学学生宇宙プロジェクトASSPは、学生自らハイブリッドロケットの製作・打ち上げ・解析までを幅広く行っている秋田大学の公認学生団体です。2006年の発足以来延べ41機の打ち上げを実施してきました。主な活動として、毎年夏に秋田県能代市で開催される全国共同打ち上げ実験「能代宇宙イベント」に参加し、ロケットの打ち上げと他大学のロケット打上団体との技術交流を行っています。また、エンジンの性能試験、パラシュート放出機構の開発なども行い、日々ロケット開発に挑戦しています。学年・学部問わず新規メンバーを募集中なので、知識がなくてもロケットの設計・機械加工・プログラミングなどに興味のある方は、ぜひ一度見学にお越しください！

〈ASSP代表：宮田 直輝〉

ASSP  
ホーム  
ページ



ASSP  
公式 X



団体名

### 秋田大学鍵盤の会 P.f

みなさんこんにちは!秋田大学鍵盤の会 P.f.です!

このサークルには、経験者はもちろん、大学から始めた初心者もたくさん所属しており、みんなそれぞれのペースで練習をしています。主なイベントとしては、アトリオンやミルハスで開催する定期演奏会や、学校祭でのコンサート、学内コンサートなどがあります。部会も週1回ありますが、部室は毎日自由に使えるので、好きな時にピアノを練習することができます。また、部室にはグランドピアノ3台、アップライトピアノ1台があるので、他の部員と一緒に練習することもできます。

ピアノに触る機会が欲しい方や、楽器や音楽に興味がある方は誰でも大歓迎ですので、ぜひ鍵盤の会にいらしてください!

〈鍵盤の会代表：沼倉 大真〉

秋田大学  
鍵盤の会 P.f.  
公式 X



秋田大学  
鍵盤の会 P.f.  
Instagram



# 秋田大学 課外活動の紹介

## CULUB ACTIVITIES

団体名

### Cafeno サークル

こんにちは!私たちは秋田大学Cafeno サークルです。私たちは秋田に新しく学生カフェを開業して、多くの方々が交流できる空間を作ろうと活動しています。現在の主な活動は、社会人の方々に相談にのっていただいたり、カフェのコンセプト構築などのためにミーティングを重ねたりと、開業に向けた様々な活動を行っています。今夏にはオペレーション経験やテストマーケティングを目的としたプレオープンを松下酒房さんを拝借して行いました。いざ実践を行うとなると、たくさんの困難が待ち受けており何度も壁にぶつかりました。しかし、その経験の中で得られたものは、今後のサークル活動でももちろん、これからの人生においても活かすことのできるたいへん価値のあるものであったと感じています。これからも、開業に向けてメンバー全員で活動に励ん

でいきたいです。高校生や現役の学生の皆さんには次のことを心に留めておいていただければ嬉しいです。「大学4年間はあっという間に時間が過ぎていきます。その貴重な4年間で様々なモノに興味を持って挑戦してください。大学にはイベントの紹介など、たくさんの挑戦の入口があります。そして、同じ秋田大学の仲間はもちろん、他の大学や社会人の方々など、たくさんの方々とコミュニケーションをとってください。たくさんの方とお話することで、多様な考え方に触れることができるので、世界観が広がりとでも面白いです。これらの経験は、おそらく何らかの形であなたのために役立つ時がくると思います。秋田大学生全員で充実した価値のある大学生活を送っていき、将来を華やかなモノにしましょう!」

〈Cafeno サークル : 船木 楓大〉

メールアドレス

s1522594@s.akita-u.ac.jp (office)  
togenneff1117@gmail.com (gmail)

Cafeno  
サークル  
公式X



Cafeno  
サークル  
Instagram



### 秋田大学の最新情報を ホームページや 各種SNSにて発信中!!

秋田大学公式ホームページ及び公式 SNS では  
秋田大学の最新情報を発信しています。  
ぜひ皆さまのフォローをお願いいたします。



公式ホームページ



公式X



公式Instagram



公式Facebook



公式YouTube



「キース」と「クース」

秋田大学には  
体育系・文化系の  
サークル・部活動が  
84団体あります。

詳しくは  
こちらからご覧  
下さい。



バレーボール部



ラグビー部



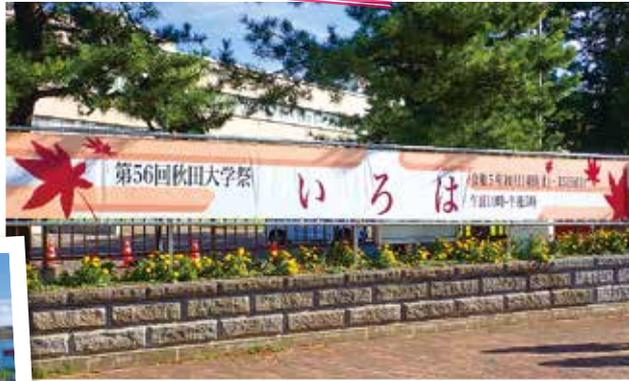
第56回

# 秋田大学祭

テーマ

# 『いろは』

## October 14-15, 2023 開催レポート



さて、今年の秋大祭は二日間開催しましたが、両日とも各サークル・部活のステージ発表や教室展示が行われました。ステージ

立つているという、過去への感謝の意も込められています。

大祭のテーマは「いろは」としました。「いろは」という言葉を知って、真っ先に連想されるのは「いろは歌」かと思えます。いろは歌は、当時のかな文字をすべて使った歌ですが、秋大祭に訪れるすべての皆さんをいろは歌に重ね、個性を大切にしていこうという思いが込められています。また、いろは歌という単語から少し古風な雰囲気を感じる方も多く思いますが、今回の秋大祭がこれまでの秋大祭の歴史の上に成り立っているという、過去への感謝の意も込められています。

皆さん、こんにちは。私は、秋田大学祭実行委員会委員長の井口颯です。今年の秋大祭はコロナ禍も明け、以前の秋大祭の活気を取り戻すものとなりました。そんな今年の秋大祭を振り返ってみたいと思います。まず初めに、今年の秋大祭のテーマは「いろは」としました。「いろは」という言葉を知って、真っ先に連想されるのは「いろは歌」かと思えます。いろは歌は、当時のかな文字をすべて使った歌ですが、秋大祭に訪れるすべての皆さんをいろは歌に重ね、個性を大切にしていこうという思いが込められています。また、いろは歌という単語から少し古風な雰囲気を感じる方も多く思いますが、今回の秋大祭がこれまでの秋大祭の歴史の上に成り立っているという、過去への感謝の意も込められています。

発表では、観客席が溢れるほどのサークルもあり、とても賑わっていました。その他にも、各サークルから模擬店が出店され、高校生の財布にも優しい値段で唐揚げやポテト、焼きそばなどが販売されました。今年は食べ歩きも解禁されたため、模擬店通りは昨年度よりも多くのお客さんで賑わっていました。秋大祭2日目には「ヤマト七歌舞輝」の方々の演舞やゲストによるお笑いライブも行われました。事前の天気予報で荒天が予想されたため、あらかじめメインステージを屋内にすることとしました。そのため、盛り上がりに欠けてしまうのではないかと懸念していたのですが、お客さんが入り切らないほどの盛況で、大成功に終わる秋大祭となりました。

最後になりますが、受験生の皆さん、秋田大学での学生生活では、秋大祭という大きなイベントはもちろん、毎日の友人との会話、サークルでの活動、アルバイトなど、楽しいイベントや青春がたくさんあります。ご自身のキャンパスライフを楽しんでいる姿を想像して、受験に励んでください！応援しています！

秋田大学祭実行委員会

委員長 井口 颯

# ウクライナ学生インタビュー

秋田大学では戦禍に苦しむウクライナからの避難学生を受け入れ、支援を続けています。今回は、3名の学生さんたちにインタビューを行いました。

- 1 秋田大学の印象について
- 2 現在何を学んでいますか
- 3 趣味は何ですか
- 4 現在の夢や目標などを教えてください
- 5 学校以外でやりたいこと、または現在やっていることは何ですか？今していることは何ですか？

## 質問項目

### アナスターシャ・ホロブニヤさん

1 ウクライナに居た頃は、新型コロナウイルスの影響によりずっとオンラインで授業を受けていました。秋田大学に来てからは、対面で学生生活を送ることができ、とても楽しくすべしっています。ALL Roomsでは他の留学生や日本人学生と楽しく交流しています。授業も先生も友達も大好きです。



2 現在、日中は秋田大学で対面授業を受け、夜はウクライナの大学のオンライン授業を受ける生活を送っています。7月に受験した日本語能力試験ではN3に合格したので、次は12月のN2の試験に向けて勉強を頑張っています。また、12月に開催される日本語のスピーチコンテストに向けての練習にも取り組んでいます。

3 趣味はビデオ撮影です。ウクライナにいた時は、両親の手伝いやアルバムなどでビデオ撮影をする機会が沢山ありましたが、今は撮影用の機械を持っていないので、まずは撮影用のカメラが欲しいです。

4 日本の大使館で働き、ウクライナと日本の外交関係を強くすることが目標です。そのため、ウクライナの大学では日本語を専攻して学んでいます。ウクライナに沢山支援をしてくれた日本に恩返しをしたいです。

また、将来も日本で暮らしたいと考えていますし、住むなら秋田がいいなと思っています。

5 ウクライナに居た頃はビデオを撮ることが好きだったので、撮影用の機械を手に入れたら色んな場所の映像を撮りたいです。

最後に、私は今日本にいますが、母と弟はウクライナにいます。また、父はウクライナの軍隊に所属しており、長らく話せていません。軍隊で働く父のことを私は尊敬しています。

### アリーナ・セルビナさん

1 私が秋田に初めて来たとき、秋田大学の国際課の方々やスタッフの皆さんが沢山支援をしてくれて驚きました。とても感謝しています。秋田大学では、自分の学びたいこととに沿った授業を選ぶことができ、授業以外にも留学生や日本人の学生と交流する機会に恵まれています。私は最初、日本人は内気で恥ずかしがり屋な人が多いことをイメージしていましたが、実際は社交的で皆さんとても優しいです。



2 私は現在、秋田大学の入学試験の勉強をしています。無事合格することができたら、正式に秋田大学の学生としてキャンパスに通うことができます。合格するために毎日試験勉強に励んでいます。

3 私は子どもの頃から、国ごとに異なる文化や伝統などに関心を持っていたので、授業以外の時間を使って日本の文化や伝統などについて調べたりしています。また、旅行も好きです。日本に来てからは、東北以外にも東京や、長崎県や熊本県にも行きました。

4 秋田県のような落ち着いた雰囲気のあるところに永住したいなと今は考えています。



5 最近私は、自分の将来について考える時間が増えました。先が見えないので、不安はありますが自分のやりたいことを経験する機会に溢れていると思うので、自分はどういう仕事をしたのか、どんなことに挑戦してみたいのか、などじっくり考えていきたいと思っています。

最後に、現在私は日本で生活していますが、毎日ウクライナのことを心配しています。今はまだ帰ることはできませんが、自分の故郷マウリポリにもいつか帰りたいです。

私の両親はウクライナに残って生活しています。ウクライナの人たちがいつかまた平和に生活できることを祈っています。このような形で皆さんに私たちの気持ちや思いを伝えることができてとても嬉しく思います。

### マキシム・ブツさん

1 秋田大学や秋田の人は皆さんとても優しく、沢山私たちに助けてくれています。私が日本にこのまま残りたいことを大学の職員さんに話したら、もっと日本語の知識を増やす必要があることを教えてくれたので今は必死に勉強を頑張っています。

2 まずは日本語の勉強と秋田大学の入学試験に合格するための試験勉強に励んでいます。また、時間があるときは日本語で書かれている漫画や本を読むようにしています。

3 これは趣味と言えるかは分かりませんが、最近は入学試験に合格できるような運というか神頼みといったものに興味を持っています。

4 夢は秋田大学に合格して、将来秋田に会社を作ることです。いつか人の役に立つような大きな企業を作って、秋田に恩返しができるいいなと思っています。

5 現在は休部していますが、試験が落ち着いたら所属している卓球部とバトミントン部に復帰して運動したいです。でも今は試験勉強に没頭しています。試験のことを考えると不安になってしまうので、自信をつけるためにもっともっと勉強したいと思っています。

丁酉会は、秋田大学病院の患者、職員及び学生への便宜供与に関する事業を行うとともに、医学研究の奨励助成を行い、患者等の利便と医学振興に寄与します。

病院での生活を、もっと便利に、快適に 一般財団法人 丁酉会

てい ゆ う かい

**保険調剤 丁酉会薬局**

秋田大学病院前

**秋田県厚生農業協同組合連合会**

かづの厚生病院 (鹿角市)	北秋田市民病院 (北秋田市)
能代厚生医療センター (能代市)	湖東厚生病院 (八郎潟町)
秋田厚生医療センター (秋田市)	由利組合総合病院 (由利本荘市)
大曲厚生医療センター (大曲市)	平鹿総合病院 (横手市)
雄勝中央病院 (湯沢市)	

JA秋田厚生連 検索

おいしい魚を世界の海から食卓へ

**丸水秋田中央水産**

代表取締役社長 鈴木 信夫  
秋田市外旭川字待合 28  
TEL 018-869-5311(代) FAX 018-868-1931

スマホで便利に! 北都銀行アプリ

ダウンロードは ↓コチラ↓

- 残高はアプリでチェック
- 振込もスマホで便利
- スマホ決済との連携も簡単

**北都銀行**

資源に変える智恵  
エネルギーに変える力

**ユナイテッド計画株式会社**  
〒011-0904 秋田市寺内蛭根3丁目24-3  
TEL.018-865-3776/FAX.018-865-3778

**秋田大学生協**は秋大生を応援します

大学生の学生生活を日常的にサポートするのが秋田大学生協です!

文具 教科書 情報機器 食事 住まい 共済

何かお困りごとがありましたら一度ご相談ください

ホームページはこちら▶▶▶ 各店舗の営業時間もこちらからチェック!

秋田大学生生活協同組合 お問い合わせはホームページから

株式会社 松 田

地域の発展とともに 株式会社 湯沢生コン

松田グループ 株式会社 丸栄建設

株式会社 出羽運輸

株式会社 エイコウ物産

【本社】湯沢市宇鶴館 39-4 TEL 0183-73-0188  
URL <http://www.matsuda-group.jp/>

**山王整形外科医院**

院長 湊 昭 策

〒010-0955 秋田市山王中島町15の18  
TEL 018 (864) 1100 ・ FAX 018 (864) 0600

用地補償コンサルタント・一級建築士事務所

**SOL** 株式会社 ソルコン

SOL.COM

〒011-0945 秋田県秋田市土崎港西三丁目8番12号  
TEL : 018-893-3134 (代表) FAX : 018-857-3311  
e-mail : sol.com@ruby.plala.or.jp  
URL : <https://sol-com.jp/>

読者アンケートのお願い

**Aprire**

秋田大学広報誌(アプリーレ)は、受験生や高校生、地域の方に向け情報発信の一環として、発行しています。皆さまのご意見をいただき、より役立つ誌面づくりを目指します。ぜひアンケート(所要時間:3分程度)にご協力いただけますよう、お願いいたします。

# 秋田大学みらい創造基金

「秋田大学みらい創造基金」は、全学的な事業を支援する「一般基金」と、用途を特定した「特定基金」で構成され、現在、企業・団体や個人の皆様など多くの方々にご支援をいただいております。この基金は、教育・研究による社会への貢献という大学の使命を果たすための大きな支えとなっており、今後一層の拡充を図りながら、有効に活用させていただきます。

## みらい創造基金による事業紹介

### 第4回 秋田大学みらい創造基金 感謝の集いを開催しました

10月14日、秋田大学みらい創造基金へ一定額以上のご寄附によるご支援をいただいた個人、法人(企業・団体)及びみらい創造振興会の方々をお招きし、感謝の意を表する「感謝の集い」を開催しました。この感謝の集いは、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度以降開催を見送っていたため、4年ぶりの開催となりました。感謝状贈呈式では、山本学長からご出席いただいた方々へ記念プレートや感謝状を贈呈しました。事業報告会では、学生海外派遣支援事業により留学した学生、学業奨励金表彰の被表彰学生及びウクライナからの受入学生が、それぞれの体験について報告を行い、御支援への感謝の言葉を述べました。その後、真鍋理事、疋田理事、羽瀧医学系研究科長及び南谷附属病院院長より、みらい創造基金による学生支援や環境整備等の状況について報告し、引き続き行われた



昼食会において、寄附者の皆様と役員・教職員、報告を行った学生が終始和やかな雰囲気でご懇談いたしました。閉会の挨拶で、山本学長から「皆様からいただきました御支援につきましては、教育の質の向上や環境の整備など、学生さんのために何が必要であるかを考え、一人でも多くの学生さんが充実した大学生活を送れるよう活用させていただきます」と謝意をお伝えしました。

### 受給学生からのメッセージ 令和5年度 新入生育英奨学資金を受給した学生からのメッセージを一部紹介します。

奨学金をいただき、深く感謝しております。今回いただいた奨学金は私にとって大きな支えとなり、学業研究に励むための費用として使わせていただきます。地域の実地研究や参考書など、自分の知識を一層深めるために使用する予定です。今後も学業に邁進し、社会に貢献することを目指していきます。いつか自分自身が同じように後進を支援できるように、心がけていきます。最後に、改めて、この度は貴重なご支援をいただき、ありがとうございました。これから学業に勤しんでまいりますので、応援いただけますと幸いです。 **〈教育文化学部〉**

この度は秋田大学みらい創造基金へのご寄附、並びに新入生育英奨学資金の給付生として採用していただきありがとうございます。今回いただきました奨学資金につきましては、入学金の支払いと今後の教科書代として活用いたします。現在経済的に豊かとは言えない状況にあり、授業料減免制度も活用している中でご支援を賜りましたこと、本当に感謝しています。今後の大学生活では、皆様にご援助いただいたという自覚を強く持ち、より一層勉学に励みたいと考えております。この度は誠にありがとうございました。 **〈理工学部〉**

### ご寄附のお願い

- ◆個人の方 一口……1,000円
  - ◆法人の方 一口…10,000円
- ※詳細につきましては、秋田大学ホームページをご覧ください。基金事務局までお問い合わせ下さい。

- 〈ご寄附の方法〉
- 振込によるご寄附
  - クレジットカードによるご寄附
  - 古本募金によるご寄附
  - 遺贈によるご寄附

### 古本募金のお願い

読み終わった書籍(CD・DVD等を含む)を本学の提携業者(チャリぼん)が買い取り、その売却代金をご寄附いただく「古本募金」をぜひ活用ください。5冊以上から送料無料でご指定の場所に集荷に伺います。ご希望の方は、チャリぼんホームページからお申し込みください。なお、一度に集荷できる古本は3箱までとさせていただきます。 ※令和2年9月よりお電話での集荷申込み受付は行っておりません。ご了承ください。



### 寄附者ご芳名

この基金の趣旨にご賛同、ご協力いただきました皆様へ、心より感謝申し上げます。今後とも秋田大学の教育・研究活動等に対し、格段のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

企業・団体等			
秋田大学医療技術短期大学部理学療法学科8期生一同 様	環境サークルたんぼぼ 様	一般財団法人丁酉会 様	
秋田大学教育文化学部附属特別支援学校PTA 様	岸田一北光財団 様	株式会社プライムハウス 様	
秋田大学教育文化学部附属幼稚園教育後援会 様	教育文化学部同窓会旭水会 様	丸水秋田中央水産株式会社 様	
秋田大学教育文化学部附属幼稚園PTA 様	医療法人正観会 様	瑞浪鉱物展示館 様	
有限会社石井スポーツ 様	医療法人千成会 旭北歯科医院 様	有限会社よいこのくに宮崎教材社 様	
個人			
浅田 昌弘 様	石山 公一 様	後松 慎太郎 様	木村 清英 様
虻川 梅子 様	市川 逸郎 様	大高 麻衣子 様	熊谷 明菜 様
阿部 亜子 様	稲庭 千弥子 様	大平 芳久 様	熊谷 晃也 様
阿部 修二 様	上田 俊昭 様	亀山 正敏 様	桑島 精一 様
池上 俊哉 様	上田 晴彦 様	木口 哲也 様	小澤 潤市 様
石塚 真人 様	上村 英彦 様	岸野 留美子 様	坂本 和太 様
			櫻井 真理子 様
			佐々木 一裕 様
			三戸 学 様
			柴田 智彦 様
			新屋敷 元 様
			関 信輔 様
			高野 華澄 様
			高橋 智彦 様
			田口 秀子 様
			千葉 文司 様
			中山 節子 様
			中山 正勝 様
			西山 広明 様
			羽 深 進 様
			星 宏 人 様
			前原 和明 様
			渡部 アヤ子 様

その他匿名希望 28名様・法人様(令和5年6月～9月末入金分 五十音順)

お申し込み  
お問い合わせ先

秋田大学みらい創造基金事務局 〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号 ☎018-889-3266  
秋田大学みらい創造基金は、秋田大学ホームページからお申し込みいただけます。  
[https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed\\_fund/index.html](https://www.akita-u.ac.jp/honbu/ed_fund/index.html)

